

こんなときは、すぐに110番

- 盗難・暴行・傷害などの被害にあったとき
- 爆発音・けん銃の発射音や人の悲鳴を聞いたとき
- 脅されたり、身の危険を感じたとき
- 不審な人や車を見たとき



通報のポイント

事件ですか、事故ですか？

- 見たままを話してください。

何時ごろですか？場所はどこですか？

- 目印になるものはありますか？

あなたの住所、名前、電話番号などについておたずねします。

「110番」をプッシュして通報してください。

- 事件や事故のあった場所、目標を知らせてください。
(住居表示がない場合は、交通標識や東京電力の電柱の管理番号)
- 移動中の通報は、通話が途切れる場合があるので止まってから通報してください。

携帯電話・PHS
による
110番通報

警察への相談・各種案内・要望等は、 警視庁総合相談センターへ！

(プッシュホン回線・携帯電話・PHSの場合) ☎ #9110

☎ 03-3501-0110

地震のときはこうする

建物の中で

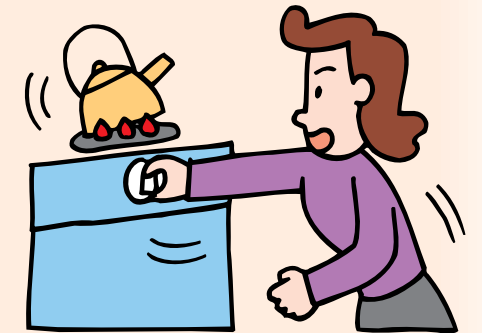
身の安全を守る

- 机の下にもぐる。
- クッションや手で頭を保護する。
- 家具から離れる。



すばやく火の始末

- やけどに注意。
- ガスは元栓もしめる。
- 電気器具はコンセントも抜く。

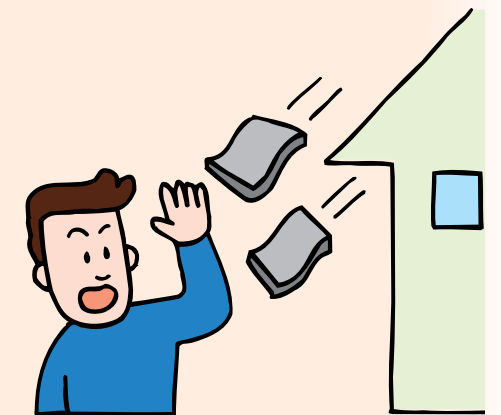


脱出口を確保する



あわてて外へ飛び出さない

- 外へ出るのは揺れがおさまってから。



ガラスの破片に注意する

- 散乱した室内には危険物がいっぱい。

